

# 地域の連携による競争力強化

(新潟県：株式会社 レガー口)

## 取組項目

| 飼養管理 | 良質堆肥の生産 | 堆肥の広域流通 | 国産飼料生産・利用 | 有機畜産 | その他(※)   |
|------|---------|---------|-----------|------|----------|
|      | ○       |         | ○         |      | 消費者理解の醸成 |

(※) 畜産GAP、農場HACCP、労働環境の改善、消費者理解の醸成 等該当するものを記入

### <取組主体について>

- ・所在地：新潟県新潟市
- ・代表者：代表取締役社長 藤田 毅
- ・飼養頭数：総頭数80頭（経産牛65頭、育成牛15頭）
- ・飼料作物作付面積：デントコーン10haなど
- ・雇用者数：7名（R4.2時点）酪農部門、加工販売部門
- ・HP等：  
（会社HP）<https://www.fujitafarm1866.com>  
（Twitter）<https://twitter.com/fujitafarms>



レガー口  
(ジェラート加工販売施設)

### <取組について>

- 概要
  - ・「株式会社レガー口」（酪農部門、加工販売部門）は、自社加工による6次産業化と「米工房いわむろ」（稲作法人）との連携により耕畜連携を推進。
  - ・酪農部門の生乳を、加工販売部門でジェラート、チーズを製造。地元の旬の食材を使用し、季節に応じたジェラートを製造販売。
  - ・デントコーンを米工房いわむろと契約栽培し、サイレージにして通年供給。また好気性発酵した完熟堆肥を田畑に投入し、コシヒカリなどの生産を行う資源循環の取組を実施。
  - ・地元法人との連携、直営店での地元産食材の活用など、地域の連携・つながりを意識した経営により、地域全体での活性化に取り組む。
  - ・酪農教育ファームとして牧場での搾乳体験等を実施。
  - ・加工販売部門が、ツイッターなどで酪農やジェラード等に関する情報を発信。
- 今後の課題
  - ・地元の耕種農家からの粗飼料供給などの耕畜連携、直営店の経営による販売力の強化、加工品販売や直売所経営による観光客の集客力アップ等の取組等を推進し、観光等を含めた多様な産業間連携による地域活性化をさらに拡大。また、飼料の国産化をさらに進める。

